

第 15 回 JAL 杯北海道ミックスダブルス
カーリング選手権大会
札幌地区予選

チームミーティング資料
(審判長事前通知)

2021. 10. 15(金)～10月17日(日)

札幌市

どうぎんカーリングスタジアム

はじめに

この文章は、大会の競技に関する事項をまとめたものであり、大会の開始に先立って、出場する各チームに大会事務局を通じて配布されます。

したがって、出場するチームの選手はもとよりコーチも、この文章を事前に読んで理解をし、大会当日に持参して下さい。本大会は JCA 競技規則 2020.11 版（鶯色版）を適用します。

なお、特に必要があると認めたときは、大会中に追加通知を行う場合がありますので留意願います。

コロナウイルス感染症拡大予防の関係からチームミーティングと開会式は行いませんので、競技規則及び本事前通知事項を熟知されるよう、ご理解をお願いいたします。

また、公益社団法人 日本カーリング協会からだされております「大会開催における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」（令和 3 年 8 月 23 日）により予防対策を十分に実施した中での開催となります。

令和 3 年 10 月

大会審判長 野長瀬 隆

カーリング精神

カーリングは技術と伝統のゲームです。技を尽くして決められたショットは見る喜びです。また、ゲームの神髄に通じるカーリングの古くからの伝統を見守るのはすばらしいことです。カーラーは勝つためにプレーしますが、決して相手を見くんだりしません。真のカーラーは相手の気を散らしたり、相手がベストを尽くそうとするのを決して妨げたりしません。不当に勝つのであればむしろ負けを選びます。

カーラーは、ゲームの規則を破ったり、その伝統を決して軽視したりしません。不注意にもこれが行われていると気がついた場合、その違反を真っ先に申し出ます。

カーリングの主な目的が、プレーヤーの技術の粋を競うことである一方、ゲームの精神は立派なスポーツマンシップ、思いやりの気持ち、そして尊敬すべき行為を求めています。

この精神は、アイスに乗っているいないに関わらず、ゲームの規則の解釈や適用に生かされるだけでなく、全ての参加者の振舞いにも生かされるべきものです。

1. 大会日程等

本大会は第15回道央ブロックミックスダブルスカーリング選手権大会（妹背牛町：11月13日（土）～14日（日））に出場する12チームを選抜する大会です。本大会の日程については、既に表示されている「タイムスケジュール」のとおりです。日時・使用するシートに変更等ある場合、本部前の掲示板に明示します。

2. ラインナップカード及び選手登録

選手登録の変更は、受付時にラインナップカードを提出すること。ラインナップカードを提出した後の変更は認めません。また、補欠選手の登録はできません。尚、試合中の投球順の変更は、エンド毎に自由にできます。（競技規則 R16）。

3. 競技方法

第15回 JAL 杯北海道ミックスダブルスカーリング選手権大会札幌地区予選は以下の競技方法によって行います。

- (1) 予選は、シード2チームを除いた29チームによるリーグ戦方式。
（A～Gブロックは各3チーム、H、Iブロックは各4チーム）
- (2) 代表決定戦は、シード2チームと予選を勝ち抜いた22チームの合計24チームを8ブロックに区分したリーグ戦方式。

4. 順位決定方法

(1) 予選

予選が終了した時点で、2勝0敗グループ、1勝1敗グループ及び0勝0敗に分け、予選2試合のLSDの合計値により序列を決める。なお、H及びIブロックの順位決めは①上位3チームは勝数により全体の序列に組み込む。②勝ちが同数となった場合は、LSDの合計値の小さいチームが上位となり全体の序列に組み込む。（4位は敗退）

全体の序列は勝ち数の多いチームから順に決定していき、序列3から24までの22チームが代表決定戦に進む。

(2) 代表決定戦

代表決定戦が終了した時点で、2勝0敗グループ、1勝1敗グループ及び0勝0敗に分け、代表決定戦における2試合のLSDの合計値の小さい順に序列を決める。

なお、勝ち数の多いチームから順に序列が上位となる。

序列1位から12位を札幌地区代表12チームとし、序列13位から17位を予備代表1から5とする。

なお、順位決定方法については後日配布されます「競技方法」を熟読願います。

5. ストーンの割り当てと配置

- (1) 予選は、トスで勝ったチームが、先練（赤ストーン）・後練（黄ストーン）を選択することができる。
- (2) 代表決定戦は、序列上位が先練（赤ストーン）・後練（黄ストーン）を選択することがで

きる。

(3) ハウス前に置くストーン (A) の位置について、試合開始前に、本部前の掲示板に明示する。

(4) 使用する 6 個のストーンは大会事務局が試合前に選定します。(不可 2 個に印)

6. ラストストーンドロンの扱い

予選及び代表決定戦の開始前に、各チームにはゲームストーンのみを使った **5 分間** の練習が許可されます。練習に関する指示は審判長が行います。

練習開始はタイムスケジュールに示されている開始時間です。赤色のストーンのチームが行い、終わり次第黄色のストーンのチームの練習が開始されます。それぞれのチームは練習終了後に直ちに LSD を行って下さい。

(1) ラストストーンドロンの (LSD) (競技規則 C8 (b)、(c)、(d))

異なるプレーヤーが時計回りと反時計回りの回転で投球して下さい。最低投球回数は予選、決定戦とも 1 回です。(時計回り 1 投、反時計回り 1 投を投球して最低投球回数が 1 回となります。) ハウスに入らなかった LSD の記録は、185.4 cm とします。(2 点計測は行わない)

また、最低投球回数違反の記録も同様とします。

なお、予選の H 及び I ブロックの LSD は 1 試合目と 2 試合目を記録とします。

7. 試合の長さ

予選、代表決定戦ともに 6 エンドで行います。ともに最終エンド終了時点で同点の場合は、サドンデスのエキストラエンドを行い勝敗を決定して下さい。

8. 計時

試合はランニングタイムで行い、**試合時間は 72 分間です。終了前 8 分コールを行うのでそれ以降は新しいエンドには入れません。デットタイム (通常 90 秒) は設けませんのでエンドが終了しましたら出来るだけ早くストーンを配置し、エンドを進めて下さい。**

9. プレー中のユニフォーム

なるべく統一したユニフォームが望ましいが、今年限りユニフォームは、統一されなくても認める。

背文字は必ず入れること。地域名、チーム名、団体名、姓または名のうち 1 つ以上で統一すること。上着を脱ぐ場合も同様とする。

10. チームタイムアウト、テクニカルタイムアウト

チームタイムアウト・テクニカルタイムアウトは、ありません。

11. プレーエリアに入る際の靴

選手・コーチ・チーム関係者がプレーエリアで履く靴はきれいでなければならない。そうでない場合、プレーエリアに入ることは許可されない。

12. アイスへのダメージ

選手は用具、手、体でアイス表面にダメージを与えてはいけない。アイスへのダメージに関しては以下の方針で対処を行なう。

- (1) アイスを傷める可能性のある深刻な動作・行動が審判によって見掛けられた場合、または相手チームから判断を求められた場合、審判は確認を行なう
- (2) 審判はその動作・行動が「偶然起こった」あるいは「避けることができた」ものだったかどうかを決定する。
- (3) もしその動作・行動が避けることのできるものだった場合(例: ストーンをデリバリーしてから長い時間手やひざをアイスの上に置いた・スweepの指示を出す際に、ハウス内の氷の上に手を置いた)、アイスメーカーの補助を得てダメージがあるかどうか判定する

13. 計測【JCA 競技規則 R11(d)】

セルフジャッジを基本としますが、必要とする場合は、審判長に合図してください。

14. 選手の位置

競技規則 R4 によりますが、出来るだけ隣のシートの選手と密接を避けるような位置となるように努めて下さい。

15. ホッグライン違反

今大会ではホッグラインセンサーを使用しません。ホッグライン審判員も配置しません。ホッグライン違反が疑われる時は審判員に申し出ること。

16. 試合のエンド数

予選並びに代表決定戦とも 6 エンドで最低必要エンド数は設けません。但し、競技規則 R11-(a) を厳守して下さい。

17. 得点

そのエンドの得点が合意されたら、ハウスを任されているプレーヤーは速やかに得点版に得点をいれること。

試合が終了した時点で、チームのスキップはスコアカードにサインをしなければならないが、その際にその試合の得点合計等、記載されている事項に間違いがないか確認してサインする

18. 喫煙

敷地内全面禁煙です。

19. 携帯電話

競技領域に入る前に携帯電話の着信音は切っておくこと。

20. 整理整頓

競技領域は常に整理整頓しておき、ごみは全て持ち帰ることを原則とする。

21. 報道

カーリングを行なうには報道機関の支援が必要である。したがって、全ての選手、コーチ、チーム関係者は報道関係者の常識的な要求には協力することが求められるが、何か問題がある場合は、審判長や副審判長に伝えること。

22. 静止画および動画撮影に関する同意

エントリー時点で肖像権等、個人の権利主張は行わないことを承諾したものとみなします。

23. 用具

使用出来るブラシヘッドはWCF Current Approved Product Codesによります。

24. 基準に則っていない用具を使用した場合の罰則 (C3(i))

SCAによって規定された競技用具の基準に則っていない用具をSCAの大会で使用した場合の罰則は以下の通り。

- (1) 大会中最初の違反をしたチーム - 対象となる選手は大会失格処分となりチームは当該試合を不戦敗とする。
- (2) 大会中二回目の違反をしたチーム - チームは大会失格処分となり選手全員が今後12ヶ月間にわたりJCAの大会への出場が認められない。

25. COVID-19（感染症対策）

新型コロナウイルス感染症の感染者数が急激に減少しておりますが、収束した分けではありません。むしろ第6波への懸念が拭えないと言われております。

- (1) 本大会は COVID-19 拡大防止の上から無観客試合とします。
- (2) 選手並びにコーチ等は事前に配布されている健康チェック表及び行動記録表を必ず提出して下さい。提出されない場合や虚偽の記入をされた場合には、大会に参加させない措置をとることもございます。
- (3) 選手・コーチ並びに大会関係者に対して抗原検査の実施を求めます。検査結果の報告が無い場合には、入館前に検査を要求することをご了承願います。なお、抗原検査の実施については協会ホームページ上で公開されておりますので熟読願います。
- (4) 大会開催日の2週間前の時点もしくはそれ以降に陽性と判断されている場合や入館前の検温で37.5℃以上となった場合は、入館を禁止します。
- (5) 競技中におけるマスク（サージカルマスク、不織布マスク）の着用は選手の判断によりますが対戦チームやペア選手と協議し対応願います。但し、着用する場合にあっても呼吸を整えることは重要です。また、競技中を除き、館内では必ずマスク等を着用して下さい。
- (6) 使用したストーンの消毒並びに勝利チームはシートの清掃をお願いします。
- (7) 選手は、シートE側から入場し、シートA側から退出及び退館して下さい。また、通路などでは大声での会話などを発しないように注意願います。

26. その他

- (1) JCA 競技規則と審判長通知事項の解釈に違いが有る時は JCA 競技規則を優先する。
- (2) 審判長通知事項および競技規則に記載されていない事柄が発生した場合は、その都度審判長が対応する。
- (3) プログラムに記載されている試合時間は、あくまでも予定時間です。試合経過により変更になる場合や、試合が行われるシートが変更となる場合もありますのでご了承ください。
- (4) 試合が続行されている場合であっても、試合が終了したシートから製氷作業を行う場合がありますのでご了承ください。